



秋川流域のジオサイト⑭



水路脇の俱利加羅不動



白滝神社の湧水

秋川駅南西の上代継にある白滝神社や真城禅寺周辺では、その名の通り、豊富な湧水が段丘崖を流れ下り、付近の住宅地と一線を画するような緑の空間が残っています。段丘下には蔵を持った大きなお屋敷が見られ、湧水の豊かなこの場所に、古くから人が住み着いていたことを伺わせます。

白滝神社の段丘崖は、最上部の秋留原面から小川面に至る大きな段差で、崖の途中から水が湧き出しています。水流が見られるところに見られる大きな円礫は、段丘礫層や上総層群から洗い出されたもので、湧水は段丘礫層と上総層群の砂勝ちの締まった礫層との境界から湧き出しています。

〈目次〉

秋川流域のジオサイト⑭	・・・・・・・・・・	1
活動報告・出前授業報告	(事務局) (内山孝男)	・・・・・・・・・・ 2
石探検ツアー報告	(中部喜和)	・・・・・・・・ 2~3
会員リレーエッセイ	(市川妙子)	・・・・・・ 3~4
これからの行事予定	(事務局)	・・・・・・・・・・ 4

これまでの行事

コロナの様子を見ながらの活動が続いています。会員グループの活動は活発です。

○事務局会

10月11日（火）、11月8日（火）、12月20日（火）

○全体会（学習会）

- ・ 9月24日（土）「東京西郊丘陵地帯にヒメハナカミキリがない理由」武智昭一さん（会員）
- ・ 10月22日（土）「四国の黒瀬川帯を訪ねてー関東山地との比較」青谷知己さん（会員）
- ・ 11月26日（土）「野鳥の春夏秋冬」荒井悦子さん（会員）

○ジオガイドツアー

- ・ 11月29日（火）「平井川で玉ねぎ畑を見よう」 雨天につき中止
- ・ 12月11日（土）「石探検ツアー」

○出前授業

- ・ 12月15日（木）増戸小学校 6年生 3クラス
指導 青谷 安藤 内山 長岡 中部

○調査チーム・有志による勉強会。

①テーマ「新第三系研究の進展」

日本地方地質誌3「関東地方」を使っでの復習、輪読会も終盤です。

②調査チーム「上総層群」

10月9日（日）北浅川の上総層群調査を実施し、そのまとめを行っています。

③調査チーム「付加体研究会」

黒瀬川帯の地質についての勉強会を進めています。

④ジオ情報室展示パネル作成委員会

情報室のパネル22枚を作成中です。毎月第2木曜日に検討会を開いています。

出前授業報告

（内山孝男）

12月15日、増戸小学校6年生3クラスの理科の授業にゲストティーチャーとして参加。スタッフは青谷・安藤・内山・長岡・中部(50音順)の5名。ジオの会が6年生理科の1時間を受け持つのは、これで3年目です。内容は、秋川の川床で観察できる1500万年前の地層の紹介です。垂直に立ち上がった地層、角礫だらけの岩、ソールマーク、生物の這い跡、そして化石。スライドを見せた後、化石を実際に手に取ったり、火打石体験や石灰岩の泡立てをしてもらいました。（内山）

久しぶりに小学生と対峙して、少し緊張しましたが楽しい授業でした。内容を大分精選したので、ストーリーとしてはよかったかと。6年生の真剣な受け答えが印象的。地域の大地の面白さに気がついて、目を向

けてくれるとうれしいですね。T先生のリクエストに感謝。（青谷）



会員対象 石探検ツアー報告

(中部喜和)

実施場所 沢戸橋下の川原

1 実施日 令和4年(2022年)12月11日(日) 天気 晴れ

2 参加者 20名 (会員14人、スタッフ6名)

3 初めての実習型ツアー開催

まえがき やれやれこれまでのジオ通信には難しい言葉が並んでネットで調べながら読む。そんな私を書く。なに?旅行記みたいにすればいいと。そんならと、引き受けた。いつもの池田さんはいないし。

4 ツアーの目的と内容

○目的 ① 川原の1平方メートル内に有る岩石の種類とその数を調べる

② 川原の石の出どころを考える

○内容 午前 事前解説 岩石調べ

午後 報告会 まとめ(内山) この川原の岩石の出どころ(鈴木)
アンケートの記入 スタッフの反省会



5 準備と方法

○参加者を4つの班に分ける ○場所を班ごと選択 ○各班に内山・鈴木・青谷・中田、安藤、松本配置

○調べる数200個 ○道具 1平方メートルにする紐 ハンマー 5寸釘(枠固定用)ルーペ 酸

○ルーペによる観察・割る・釘での疵・酸での反応 ○解説書の配布(個人)記録用紙配布(各班)

6 調べる前の手順

① この場所の解説(鈴木) ②この場所で見られる岩石の解説(松本) ③調査の手順(中田 安藤)



会員リレーエッセイ (市川妙子)

檜原風穴とくらかけの滝 グループ調査に参加させていただいて

コロナ禍で外出がはばかられる中、五日市の歴史や地学に興味を持った友人達と戸倉しろやまテラスのジオ室の展示を見学しました。それがきっかけで、その時にジオ情報室の説明をしていただいた方々に戸倉城址の案内などをさせていただきました。それをきっかけに、以前から踏み出せなかったジオの会にも友人と一緒に入会しました。

入会后、一度総会に出席しただけで、初のツアーにも参加しそびれていましたが、2度目の檜原グループの調査にお誘い頂き、檜原グループに入り、11月8日に参加しました。風穴と言えば洞穴?程度の考えで、参加しましたが、地形や養蚕業のこと、聞けば聞くほど、昔の人々が自然を利用して近代日本を支えた養蚕業を興していった事に驚きました。

またくらかけの滝は水深が深くて滝まで行けず、写真だけでしたが、岩壁部は水の流れて削られた様子がわかる形をしており、周囲には地層の重なりが美しい岩が立ち上り、波打つ様に傾いた岩壁。

そんな地形の中、滲み出て川となり、滝となり、自然を形造る水。あきる野に住み始めた頃、秋川

生まれの夫の、「秋川にはダムがないから、川の水がイキイキしている」との、自慢げな言葉を思い出した。それなのに、ゴミ焼却場なんて！本当に自然に申し訳ない気持ちになった。オマケで行った風張峠、日頃見上げる山並みを見下ろし、広い空と紅葉の山々に心癒された一日でした。

案内して下さった会員の皆様へ感謝、感謝の一日でした。地学の勉強は難しいのですが、自然を知り、楽しむ事ならついでに行けそうなジオの会です。



3号風穴の前にて



風張林道から檜原村の山並みを楽しみました

これからの行事

○全体会

- ・12月24日(土) 14時～ 戸倉しろやまテラス2階研修室
学習会 「図から読み解く「新第三系研究の進展」」 内山孝男さん(会員)
- ・1月28日(土) 14時～ 五日市交流センター 2階会議室
学習会 「秋川流域に残る道切りの行事やしるし」 大澤夕希子さん(会員)
- ・2月25日(土) 14時～ 戸倉しろやまテラス2階研修室
学習会 「日の出町の黒瀬川帯と坂本ホセ入沢の古期岩類」 武智・鈴木・内山さん(会員)

○一般普及講演会

- ・2月 実施の方向で調整中です

○研究テーマに合わせた調査や室内実習は、随時行っていきます。またオンライン講演会などの情報は随時メールで配信します。

会員・会費

秋川流域ジオの会では、随時会員を募集しています。秋川流域の大地の豊かさと面白さを学び、伝える活動にぜひご参加ください。現在の会員数は56名です。

☆年会費 2,000円 (会計年度 1月～12月)

☆振込口座 西武信用金庫 五日市支店(024)

普通口座 1173684 秋川流域ジオの会 会計 田野倉勝則

秋川流域ジオの会通信 vol.14

2022年12月24日発行

発行 ; 秋川流域ジオの会 URL: <http://www.akigawavalleygeo.com>

発行人; 内山孝男 編集事務局; 青谷知己

連絡先; 〒197-0814 あきる野市二宮 1300-97 池田美智子 t e l 080-5470-1588